

# 永久座右版



愛して、恋して、  
悩んで、別れ…

結婚して、なに？ 夫婦して、なに？  
●登場する人々♥日・シヨウ／北原武夫／O・ンリー／ハイネ／ソクラテス／ミケランジェロ／フイリッパ・マロー／曾野綾子／小高根二郎／バルザック／ルナール／斎藤緑雨／ジャック・シムクリア／A・フレヴォ／勝部貞長／ラ・ロシュフォー／モリエール♥計44名



要田勇

SEXと快楽の多面的研究  
●登場する人々♥ヴォルテール／赤塚不二夫／エヒクロス／倉田百三／アリストテレス／マルキ・ド・サド／柳家三竜松／リビテンベルク／エリカ・ジノック／十五代目羽左衛門／アスタインベック／佐藤愛子／サマセット・モーム／高橋義孝／クリステイナ女王／岩城宏之♥計9名

# 現代名言高海

日本文芸社

## とっておきの名言文句1300

男は永遠に単純なのだ…



●登場する人々♥三島由紀夫／シュニツラー／モンテルラン／バイロン／フロベール／フランシス・ベーコン／金子光晴／アンリ・ド・レニエ／アルトゥーバシエフ／バルザック／エリス／大養毅／ポーヴォワール／佐藤幸平♥計15名

友よ、友情にこだわってみよう

●登場する人々♥J・P・サルトル／三好達治／ニーチェ／モンテーニュ／D・H・ロレンス／サン・テグジュペリ／魯迅／ブレコレンコ♥計67名

## ランダムプレス編



幸福は、何色の馬車に乗って…？  
●登場する人々♥羽仁進／シラー／A・アドラー／ラ・ロシュフォー／萩原朔太郎／J・S・ゴードン／ドストエフスキー／S・ベルト／エッセンバツハ／フリーチェ／シエイクスピア／ヒルティ／バーナード・ショー／ロマン・ロラン／ゲオルク・キウ♥計27名



生きるってことは、闘うことだ

●登場する人々♥マモン・ロラン／トルストイ／アリストテレス／サマセット・モーム／樋口一葉／ニーチェ／岡倉天心／P・ヴ・アレリ／志賀直哉／安部公房／ベン・シャーン／山本周五郎♥計45名



人間、涙と微笑に揺れる振り子よ  
●登場する人々♥ドストエフスキー／柴田翔／ジャンリュック・ゴダール／荘子／リンカーン／シユバイツァール／B・シヨール／アミエル／大河内一男／シラー／ハース♥計54名



愛と憎しみは、♥のウラオモテ  
●登場する人々♥ラ・ロシュフォー／坂口安吾／フョイヒルズレーベン／シエイクスピア／ペリクレス／アイスキュロス／三木清♥計9名



女は永遠に不可解なのだ  
●登場する人々♥ロ・サ・ルクセンブルク／水上勉／J・スタインベック／佐藤愛子／サマセット・モーム／高橋義孝／クリステイナ女王／岩城宏之♥計9名

●金原亭馬生（落語家）

弟子は、いま八人います。まず便所掃除から始めさせて、台所仕事、掃除とひととおり仕込みます。人のイヤがる仕事を辛抱してやる、これが大切なんです。

●三遊亭円生（落語家）

芸人というのは生涯かけて博奕をしているようなものです。若い人にそれだけの覚悟があるかどうか……。

●桂 文楽（落語家）

あたしにいわせますとね、いまは、噺の教え方も知らなきゃ、教わり方も知りませんね。この人にこの噺を教わりたいと思ったら、どんなにご機嫌が悪くても、機嫌をとりむすばう、どんな用でもしよう、ゲロをなめようって、そのくらいの気がまえでなくちゃいけませんよ。それで、一つの噺をコツコツ勉強す

る。器用じゃダメなんです。

\* \*

あたしも、芸を捨ててこの女とどっか逃げちゃいたいなと思うことが、どのくらいあったかかもしれませんけれどもね、結局芸を捨てきれなかった。「芸であきらめろ」ということをよくいわれましたが、それがどのくらいいいまの芸に多足になっているかわかりません。

●大鵬（元横綱）

世慣れして、要領のいい立ち回りを覚えたら、もうだめです。平凡な人間でも、必死に努力したものが勝ちです。一生懸命やれば必ず報われる、と私は信じています。

●山田久志（飯急レープスの二〇〇勝投手）

茶わんは二つだけ。客がくると女房は皿で食べた。いい暮らしをするためには、人一倍練習するしかない、と思った。

✦ ✦

●貴ノ花満（現藤島親方）

一歩前に出るの、必死ですよ。一瞬でも気を抜いたら、とたんにやられちゃう。てきめんですよ。みんな強い。

✦ ✦

●小畑勇三（横綱北の湖の父）

スカウトされた時、二十歳までに十両にならなかつたら戻してくれ、と念を押した。

✦ ✦

●城之内邦雄（元巨人軍エース）

いまの高校生は身体は大きいし、テレビ見ているせいで投げ方も上手なんだけど、走り込んでないからぜんぜん体力がありませんね。ピッチャーは監督やコーチにつくつてももうんじやない。黙々と走って、自分でつくっていくもんなんです。

上前淳一郎「巨人軍陰のベストナイン」

✦ ✦

●藤本義一（作家）

犬だって、拾い食いする犬は毛が抜けてしまふでしょう。あれと同じでね。餌が落ちていて、本当は食いたいんだけど、でも食わない。あの目標を落とすまでは、という生き方をしていれば、その目標を落としたときというのは、セコく拾い食いしていたのよりも、ずっと大きな仕事ができて、結局は、大きな収入だって得られるんじゃないだろうか。

✦ ✦

●A・スローン（アメリカGGM会長）

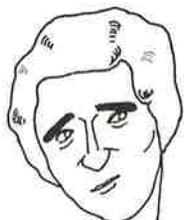
失敗を気にしては革新はできない。打率3割といえは強打者だが、それは10のうち7までが失敗だったということなのだから。

✦ ✦

●P・シルス（前20ローマの喜劇作家）

**最高に到達せんと欲せば、最低より始めよ。**

「箴言」



G.FUJIMOTO

●ピスマルク(19Cドイツの政治家)

青年にすすめたいことは、ただ三語につき  
る。すなわち働け、もつと働け、あくまで働  
け。  
『演説集』

●魯迅(20C中国の文学者)

青年時代には、不満はあつても、悲観して  
はならぬ。つねに抗戦し、かつ自衛せよ。も  
しいバラにして、踏まねばならぬものなら、  
もとより踏むのもよいが、踏まずにすむもの  
ならみだりに踏むべきではない。  
『学生許五平へ与えた手紙』

●寺山修司(劇作家・歌人)

地方の若者たちはすべて家出すべきです。  
そして、自分自身を独創的に「作りあげて  
ゆく」ことに賭けてみなければいけない。帰  
ろうとおもえばいつだって帰ることはできる  
のですから……。  
『家出のすすめ』

●E・ゾラ(19Cフランスの作家)

青年よ、青年よ、常に正義とともにありた  
まえ。もし、正義の観念が君のうちで薄れる  
ようなことがあつたなら、君はあらゆる危険  
におちいることだろう。  
『前進する真理』

●L・ヴィスコンティ(イタリアの映画監督)

今の若い映画作家たちが製作条件の悪さを  
理由にするが、我々があの頃に遭遇していた  
困難さにくらべたら何のことがあろう。我々  
は、より急進的で、より勇気があり、より戦  
術的であつた。

●ピカソ(20Cスペインの画家)

誰かの作風をまねた絵ばかりがえんえん列  
をなしているが、さて自己独特の方法で制作  
に精進している若い者は稀である。  
『手紙』

●ジャン・コクトー(20Cフランスの作家)

青年は決して安全な株を買つてはならない。  
『牝鶏とアルカン』

●P・ヴァレリー(20Cフランスの詩人・思想家)

成熟セヨ……。  
『テスト氏』

●スターリン(20Cソビエトの指導者)

我々の前には城塞がある。この城塞は、知  
識の数多くの部門をもつ科学と呼ばれるもの  
である。この城塞は、なんとしても抜きとら  
なければならぬ。この城塞は、もし青年た  
ちが新しい生活の建設者でありたいと思ひ、  
老練な人々の真の交代者でありたいと思ふな  
らば、青年たちが抜きとるべきである。

(共産青年同盟第8回大会)

●正岡子規(俳人)

何事によらず、革命または改良ということ

は、必ず新たに世の中に出てきた青年の力で

あつて、従来世の中に立つておつたところの  
老人が説をひるがえしたために革命または改  
良が行なわれたという事は、ほとんどその例  
がない。  
『病状六尺』

●T・E・ロレンス(アラビア独立に参加した英国人)

ほんの擦り傷さ。僕は弾丸じや死なないよ！

D・リーン監督「アラビアのロレンス」

●ノルビット(ポーランドの抵抗詩人)

火花を散らし  
君の身より炎があがる時  
君は知らず  
その身を焼きつくし  
自由の身となることを

灰の奥深くダイヤモンド横たわり  
永遠の勝利に輝かんことを

A・ワイタ監督「灰とダイヤモンド」



T.E. LAURENCE

# 良心よ、知性よ、反抗せよ！

●バルビュス 「知識人に与う」

●岡本太郎 (画家・彫刻家)

ただ、人間、抵抗だけが生き方だ。

●ジョレス (19、20フランスの政治家)

われわれの主張や思考のすべてに、ひそかな反抗が混りこんでいなければならぬ。

●徳富蘆花 (明治・大正期の作家)

諸君、謀叛を恐れてはならぬ。自ら謀叛人となるを恐れてはならぬ。新しいものは常に謀叛である。

我らは生きねばならぬ。生きるために謀叛せねばならぬ。  
(講演より)

●A・ジイド (20フランスの作家)

改造すべきは単に世界だけでなく、人間だ。その新しい人間はどこから現れるのか？ それは外部からではけつしてない。友よ、それをお前自身のうちに見出すことを知れ。  
「新しき種」

●ゴッホ (19Cオランダの画家)

医師たちは、われわれにモーゼ、マホメット、キリスト、ルーテル、バンヤン、その他の人々のみならず、フランス、ハルス、レンブランド、ドラクロアや、同様にまたばく自身之母上のような限られた知能をもった老婦人たちも狂人であった、と教えている。これらの医師たちには、こうきいてみたいものだ。

もしそういうことなら、正気の人々はどこにいるのかね、と。

「ゴッホの手紙」

●平賀源内 (江戸中期の本草学者・劇作家)

学者は唐の反古にしばられ、詩文学を好む人は、韓柳盛唐の鉤屑を拾い集めて柱と心得、歌人は居ながら飯粒が足の裏にひばり付、医者は古法家後世家と陰弁慶の議論はすれども治する病も療し得ず。  
「放屁論」

●マルコム・X (アメリカ黒人運動の指導者)

おれが刑務所にぶちこまれたってたまげることほねえやな。おまえらだつてずうつと刑務所に入ったきりじゃねえか。このアメリカつてところが、だいたい大きな刑務所なんだ。  
「黒人は武装する」

●墨子 (中国・戦国時代の思想家)

そもそも正義と不正義とは何によって区別するのか。さきの事件のごとく一人を殺害したものは不正義の行為をなしたものとして死刑の判決を受けた。十人を殺害するものは十倍の不正義を侵したのであるから、十度死刑に処せられてもやむをえない。もちろんかかる処刑は不可能であるけれども、同様にして百人を殺害したものには百死刑を加えても当然と考えられる。多分天下の有識者もみなこの意見を支持されるであろう。

しかるに事他国との戦争となると、何千人何万人の人間を殺害する行為も不正義どころか、正義いな無上の名誉ある行為と認めて少しも疑わない。  
貝塚茂樹「諸子百家」

それには及ぶまい。私は、やめる。

●北一輝 (日本ファシズムの理論的指導者)  
\*銃殺に処される直前、「天皇陛下万歳」三喝を提案した同志に向つて



V.V. GOGH

●エウリピデス（前5世紀ギリシャの詩人）  
運命に向かい、わめき、罵りてなんの利益  
ありや。運命はつんばなり。

◆ ◆ ◆

●片山 潜（日本の労働運動の創始者）  
人間には運命というものがあって、自分で  
ある程度までこれを開拓して行くことができ  
る。

「自伝」

◆ ◆ ◆

●大町桂月（明治の文学者・評論家）  
運は運なり。運転するなり。独断の人を去  
つて、果断の人に来る。

◆ ◆ ◆

●シエイクスピア（16世紀イギリスの劇作家）

およそ人の行ないには潮時というものがあ  
る。うまく満潮に乗りさえすれば運はひらけ  
る。

「ジュリアスシーザー」

◆ ◆ ◆

●吉行淳之介（作家）

運命論を私は否定はしない。じつは結局は  
そうなのかもしれないとおもっている。私  
のいいたいのは、決断の瞬間についての身の  
処し方である。その結果が、丁と出ようと半  
と出ようと、これはもうアキラメなくては  
いけない。そして、そのアキラメ方も、自分の  
責任として潔くなくてはいけない。

「ほくふう人生ノート」

◆ ◆ ◆

●フランソワ（ロッコとコンビの青年ギャング）

世の中にはヨ、ツキなんてものはねえんだ  
よ。

「ドレー監督」ボルサリーノ」

◆ ◆ ◆

●芥川龍之介（作家）

偶然即ち神と闘うものは常に神秘的威厳に  
満ちている。賭博者もまたこの例に洩れない。

\* ◆ \*

古来賭博に熱中した厭世主義者のないこと

は如何に賭博の人生に酷似しているかを示す  
ものである。

\* ◆ \*

法律の賭博を禁するのは賭博による富の分  
配法そのものを非とする為ではない。実は唯  
その経済的ディレクタンティズムを非とする  
為である。

「休儒の言葉」

◆ ◆ ◆

●大岡昇平（作家）

死んだ中原中也は私のことをいつも「相場  
師の息子」と罵り、今日出海は私の博才を誇  
張して、私のやることを賭の観念から解釈す  
ることを好むが、事実は父の失敗を見ている  
私は、生活では賭は絶対に行なわないのであ  
る。賭を知らない人の賭の観念は、実際とは  
逆だ。

「父」

## チャンスが二度君の扉をノックするなぞと思つな。

●ジャンフォール「箴言と考察」

●リヒテンブルク（18世紀ドイツの物理学者）  
チャンスは泥棒をつくるだけではない。そ  
れは偉大な人間をもつくる。「人相学について」

◆ ◆ ◆

●スマイルズ（19世紀イギリスの著述家）

もしチャンスが見出せなかつたら、自らチ  
ャンスをつくることだ。

「自助論」

◆ ◆ ◆

●A・カーネギー（19世紀アメリカの実業家）

チャンスに出会わない人間なんぞ一人もな  
い。それを捕えなかつたというだけだ。



S. OHOKA

すべて賭けをする者は、不確実なものを得んがために確実なものを賭ける。●パスカル

◆ ◆ ◆  
●ヘルダー（18Cドイツの作家・哲学者）

チャンスがなければ、強者の手といえども、鎖につながれたも同然だ。爪をとられた獅子は、力がなんの役にたとう。『東洋詩華集』

◆ ◆ ◆  
●リンドバーク（20Cアメリカの飛行家・軍人）

ヨーロッパ全航程にわたる完全無欠な好天候の確報なんか待っていられるもんか。今こそチャンスだ。よし、明け方に飛び出そう！

「翼よあれがバリの灯だ」

◆ ◆ ◆  
●輪島功一（元世界Jミドル級チャンピオン）

ちよつとでもチャンスをつかんだと思ったら、少々無理をしても思いきっていくことだ。そうしないと、チャンスはものになれない。『完璧なチャンス』なんてないんだから。

◆ ◆ ◆  
●相馬愛蔵（新宿中村屋創業者）

機会というものは、いつも初めは、一つの危機として来るか、あるいは一つの負担として現われた。

◆ ◆ ◆  
●呉 清源（囲碁名人）

私は、碁と関係のない人を紹介されても、すぐに会おうとは思いません。時が来なければプラスにならないのです。時ということは、タイミングですね。よいことでも、時期がわるいとダメになる。瞬間のタイミングです。

◆ ◆ ◆  
●水原 茂（元読売巨人軍監督）

ユニフォームを着てグラウンドに出てきたからには、どんな選手にも同じように私はチャンスを与えました。失敗があつてももう一度チャンスを与える——これが私が学んできたアメリカ大リーグの生き方なんです。むしろチャンスを与えられながら、それをつかみき

れない選手も多い。つらいいい方だが、それは、誰が悪いでもなく、自分に力がなかった、ということなのです。

上原淳一郎「巨人軍陰のベストナイン」

◆ ◆ ◆  
●D・リーン（20Cイギリスの映画監督）

何を描くかをよく狙い、これで行くこうかと思つたら断固ハラを決め、ありとあらゆるものをその狙いのために集中する。私にとつては、映画づくりも、恋愛も、要領は同じだ。

◆ ◆ ◆  
●勝 海舟（旧藩臣・明治の政治家）

それ御覧な、機があるのだから、機が過ぎから、なんといつたって、それだけのことサ。『海舟座談』

\* \* \*  
急いでも仕方がない。  
寝ころんで待つのが  
第一だと思つています。

才能とは、自分自身が自分の力を信ずることである。

◆ ◆ ◆  
●H・ガイヤー（20Cドイツの心理学者）

私たちはみな生まれたては馬鹿である。だから問題は、私たちがこれから何を習い覚えたか、どれほど覚える力があつたかということである。遺伝するのはできあがつたものでなく、能力だけである。『馬鹿について』

◆ ◆ ◆  
●中村紘子（ピアニスト）

誰もができることを、自分も全部できるからといって、何の自慢にもならない。

◆ ◆ ◆  
●坊っちゃん（中学校の英語教師）

「坊っちゃん、先生だつて、出来ないのは当たり前だ。出来ないのを出来ないといふのに不思議があるもんか。」夏目漱石「坊っちゃん」



K. WAZIMA

# 成功

その秘訣は、いかなる職業であらうとも、その第一人者たることを期するに在りてあり。

●A・カーネギー

●エマーソン (19Cアメリカの詩人・思想家)

自信は成功の第一義である。

●モンテスキュー (18Cフランスの思想家)

世の中で成功するには、馬鹿のように見せて、利口に活動することである。

●ワナメーカー (20Cアメリカの実業家)

成功の秘訣を問うな。なすべきひとつひとつに全力を尽くせ。

●A・カーネギー (19~20Cアメリカの実業家)

あなたは成功者になれる。だがそうなるには仕事に精を出す必要がある。何かを成し遂げたくてたまらず、そのためには何ものも惜

しまない気持になることだ。一つその気になつてみないか。

「人を動かす」

●ビーコンスフィールド (16Cイタリアの彫刻家)

成功の秘訣は、目的の一定不変なるにあり。

●クインティリアヌス (1Cローマの修辭家)

事を行なうに、いつから始めようかなどと考えているときは、すでに遅れをとっている。

●湯川秀樹 (物理学者)

今日はあれをやり、明日はこれ、というように、あまり気が散ると、結局どれもものにならないですね。同じことを、根気よくあってもない、こうでもないと、ひねくりまわし

ているうちに、ハツと気がつく。これは学問に限らず、どの方面についてもいえることだらうと思えます。

「自己発見」

●小林一三 (実業家)

百里先に見える人は、世の中から気狂い扱いされる。現状に止まるものは、落伍者となる。十里先を見て事を行なうのが世の成功者である。

●サン・シモン (17Cフランスの作家)

偉大な事業を完成するためには、人はつねに緊張していなければならない。

「遺言」

●ボビエ

成功する人は錐の先だ。

ある一点に向つて働く。

●C・チャップリン (20Cアメリカの映画作家)

偉大な俳優であるための必要條件は、演技する自分を愛することである。

「チャップリン自伝」

●吉田兼好 (鎌倉末期の随筆家)

一事を必ずなさんと思わば、他の事の破るをもいたむべからず。人のあざけりをも恥ずべからず。万事をかえずしては、一の大事成るべからず。

「徒然草」

●プラトン (前4Cギリシャの哲学者)

よく始められた仕事は、なかば終わったものである。

●ラ・ロシュフコー (17Cフランスの作家)

小さなことに身を入れすぎる人は、通常、大きなことができなくなる。

「箴言と考察」



A. CARNEGIE

● W・ハズリット (19Cイギリスの批評家)

## 記念碑をほしがらない人だけが記念碑に値する。

◆ ◆

● 鶴岡一人 (元南海ホークス監督)  
アイツは包容力があるとか、人間ができておる……これ、昔の詩。勝たんかったらあかんの、商売はもうけなんだらあかんの。そうするとすべてが円満にいけます。もうそういう時代や。

● ボアンカレー (20Cフランスの物理・数学者)  
成功の栄冠にあこがれることは、とがむべきでない。ただ、栄冠にのみあこがれて、その日を空費することこそ、とがめられるべきである。

◆ ◆

● 三木 清 (哲学者)  
成功と幸福とを、不成功と不幸と同一視するようになって以来、人間は其の幸福が何であるかを理解し得なくなった。自分の不幸を不成功として考えている人間こそ、まことに憐れむべきである。

◆ ◆

● 野村克也 (元南海ホークス捕手監督)  
制球難は論外ですが、ストライクばかり投げようとするのは、アマチュアなのです。プロで一流になるためには、意識してストライクをとり、ボールが投げられなくてはダメです。

◆ ◆

「人生論ノート」

◆ ◆

● 米田哲也 (元阪急ブレーブスのエース)  
ムリにMVPをとって一年でつぶされたら、結局ソンだ。プロ野球選手の損得勘定は一年間の記録じゃなくて、いかに長くユニホームを着ていられるかで計算すべきだよ。

● 武田信玄 (戦国武将)

為せば成る、為さねば成らぬ成る業を、成らぬと捨つる人のはかなき。

◆ ◆

● 月性 (幕末の詩人)

人間いたる所に青山あり。  
◆ ◆  
● 五島慶太 (実業家・東急創始者)  
自分より偉い人はみんな利用しなければだめだ。

◆ ◆

● 豊田佐吉 (実業家・トヨタ創始者)  
人のやったことは、まだやれることの100分の1にすぎない。

◆ ◆

● エマーソン (19Cアメリカの詩人・思想家)

世界史に残るような偉大で常々たる業績は、すべて何らかの熱中がもたらした勝利である。

◆ ◆

● 渡辺一夫 (フランス文学者)  
真に偉大な事業は、「狂気」に捕えられやすい人間であることを人一倍自覚した人間的な人間によって、誠実に執拗に地道になされるものです。

◆ ◆

● ヘーゲル (19Cドイツの哲学者)  
理念は、われらの眼前に広がっている世界史という大きな敷物の縦糸であり、情熱はその横糸である。

\*

\*

「法の哲学」



G.W.S. HEGEL

# 熱情というものは砂すら燃やすものだ。

● 吉田一穂 (詩人)